

PRIMERGY MS380 ハードウェアセットアップガイド

P3F1-0260-01-01
A 0006-1

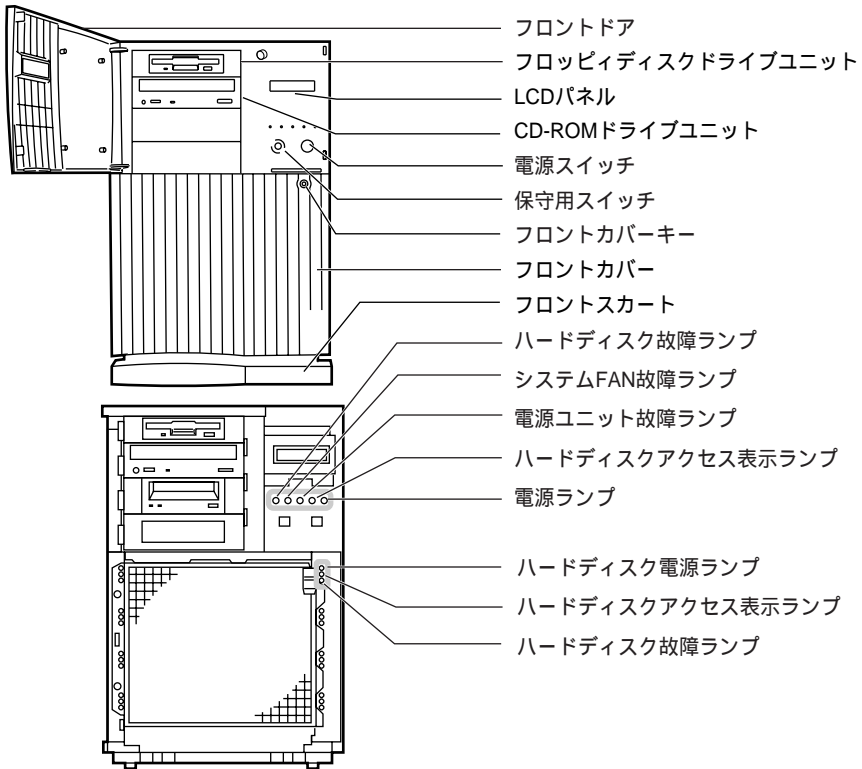
本ガイドに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。All Rights Reserved, Copyright © 富士通株式会社 2000

設置から運用まで

本サーバの設置から運用までの流れを示します。
以降の流れ図に従って、設置から運用までの作業を行ってください。

- 梱包物 / 添付品を確認する**
→ 「第2章 設置と接続」の「2.1 梱包物の確認」
- 設置場所を確認し設置する**
→ 「安全上のご注意」、「第2章 設置と接続」
- 準備する**
事前に以下のものを用意してください。
・ ServerWizardのCD-ROM (以降ServerWizard CDと記述します)
・ 工具 (プラスドライバー)
重要 本サーバに添付の以下のマニュアルを必ず準備してください。
『Windows NTをインストールしよう!』、
『PRIMERGY ソフトウェアガイド』
- 内蔵オプションを取り付ける**
重要 ServerWizardを使ってセットアップするときは、事前に取り付けられる内蔵オプションは決まっています。事前に取り付けることができない内蔵オプションは、ServerWizardを終了してから、取り付けてください。
→ 『PRIMERGY ソフトウェアガイド』の「第1部 第1章 ServerWizard V2.0の概要」
注意 内蔵オプションを取り付けるときは、取り付け位置や順序、他のオプションとの同時搭載時の注意があります。参照箇所を熟読のうえ、以降の手順を実施してください。
→ 「第5章 内蔵オプションの取り付け」、
『各オプション装置の取扱説明書』
- 周辺機器を取り付ける**
ディスプレイ装置、キーボード、マウスを本体装置に接続します。その他の周辺機器を取り付けます。
→ 「第2章 設置と接続」の「2.3 接続方法」
- 各機器の取り付けを確認する**
設置した装置にぐらつきがないこと、ケーブルが確実に接続されていることを確認します。
- 電源の投入 / ServerWizard CDのセット**
電源投入後すぐに、ServerWizard CDをセットします。
取り付けたメモリ総容量と同じ容量がディスプレイに表示されること、およびシステムが正常に起動することを確認します。
注意 必ずServerWizard CDをセットしてください。
→ 「3.2 電源を入れる」
- BIOSセットアップユーティリティを設定 / 確認する**
注意 取り付けたオプション装置によって、BIOSセットアップユーティリティの設定値を、確認または変更する必要があります。
→ 「4.4 BIOSセットアップユーティリティを使う」
『各オプション装置の取扱説明書』
- SCSIコンフィグレーションユーティリティを設定 / 確認する**
注意 使用する内蔵ハードディスクによってSCSIカードの設定を、確認または変更する必要があります。
→ 「4.5 SCSIコンフィグレーションユーティリティを使う」
- ISAコンフィグレーションユーティリティを設定 / 確認する**
注意 取り付けたオプションカードによって、ISAコンフィグレーションユーティリティの設定値を、確認または変更する必要があります。
→ 「4.6 ISAコンフィグレーションユーティリティ (ISA)を使う」

サーバ本体前面



11 ServerWizardを実行する

ServerWizardは、以下の作業を簡単に行うことができるWindowsサーバ導入支援プログラムです。

- ・ OSのインストール
- ・ ドライバ類のインストール
- ・ 必須ソフトウェアのインストール

ここでは、ServerWizardを使って作業する場合と使わない場合に分けて説明します。
以下の表に従って、ServerWizardを使用するかどうかを選択してください。

ソフトウェアのインストール	参照箇所
設置からソフトウェアのインストールまで 継続して行う	「ServerWizardを使用する場合」 「ServerWizardを使用しない場合」
ソフトウェアのインストールは別途行う	「ServerWizardを使用しない場合」

重要

アレイシステム構築時は、構築するシステム構成によって、ServerWizardを使用できない場合があります。
アレイシステムを構築する場合には、事前に「PRIMERGY ソフトウェアガイド」を参照して、ServerWizardが使用できるシステム構成であるかどうかを確認してください。

ServerWizardを使用する場合

ServerWizardを実行します。

- 『Windows NTをインストールしよう!』
『PRIMERGY ソフトウェアガイド』
「6.7 Servivisor / Intel (R) LANDesk (R) Server Manager
について」および「Servivisor / LDSMのオンラインマニュアル」

ServerWizardを使用しない場合

以下の作業を手作業で行ってください。

- 1 ドライバディスクの準備**
ServerWizard CDから必要なドライバディスクを作成します。
→ 「6.1 OSの種類と使用するドライバ」
- 2 OSのインストール**
→ 「第6章 ソフトウェアのインストール」
- 3 Servivisor / LDSMのインストール**
必須 → 「6.7 Servivisor / Intel (R) LANDesk (R) Server Manager
について」および
「Servivisor / LDSMのオンラインマニュアル」

12 UPS (無停電電源装置) の取り付け

条件

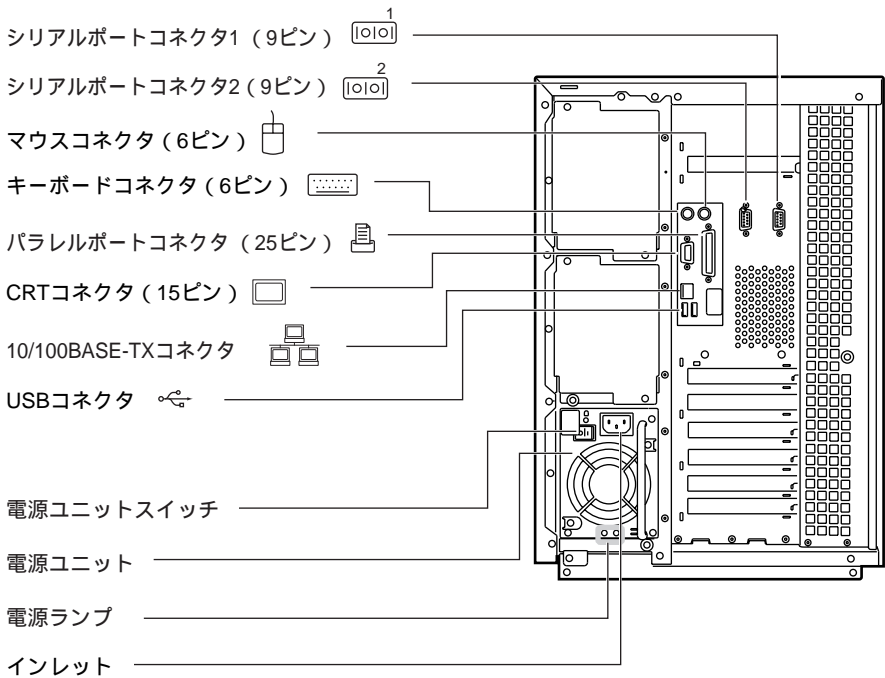
- UPSを接続する場合
→ 『UPSの取扱説明書』

13 システム設定情報を退避する

「BIOS Environment Support Tools」を用いて、システムの設定情報を退避するとともに、コンフィグレーションシートに装置の運用状態を記入するようにしてください。
システムに異常が発生したときやオプションの増設時に参考になります。
→ 「4.7 BIOS設定情報およびICU設定情報の退避 / 復元」、
「付B.1 コンフィグレーションシート」

14 運用開始

サーバ本体背面



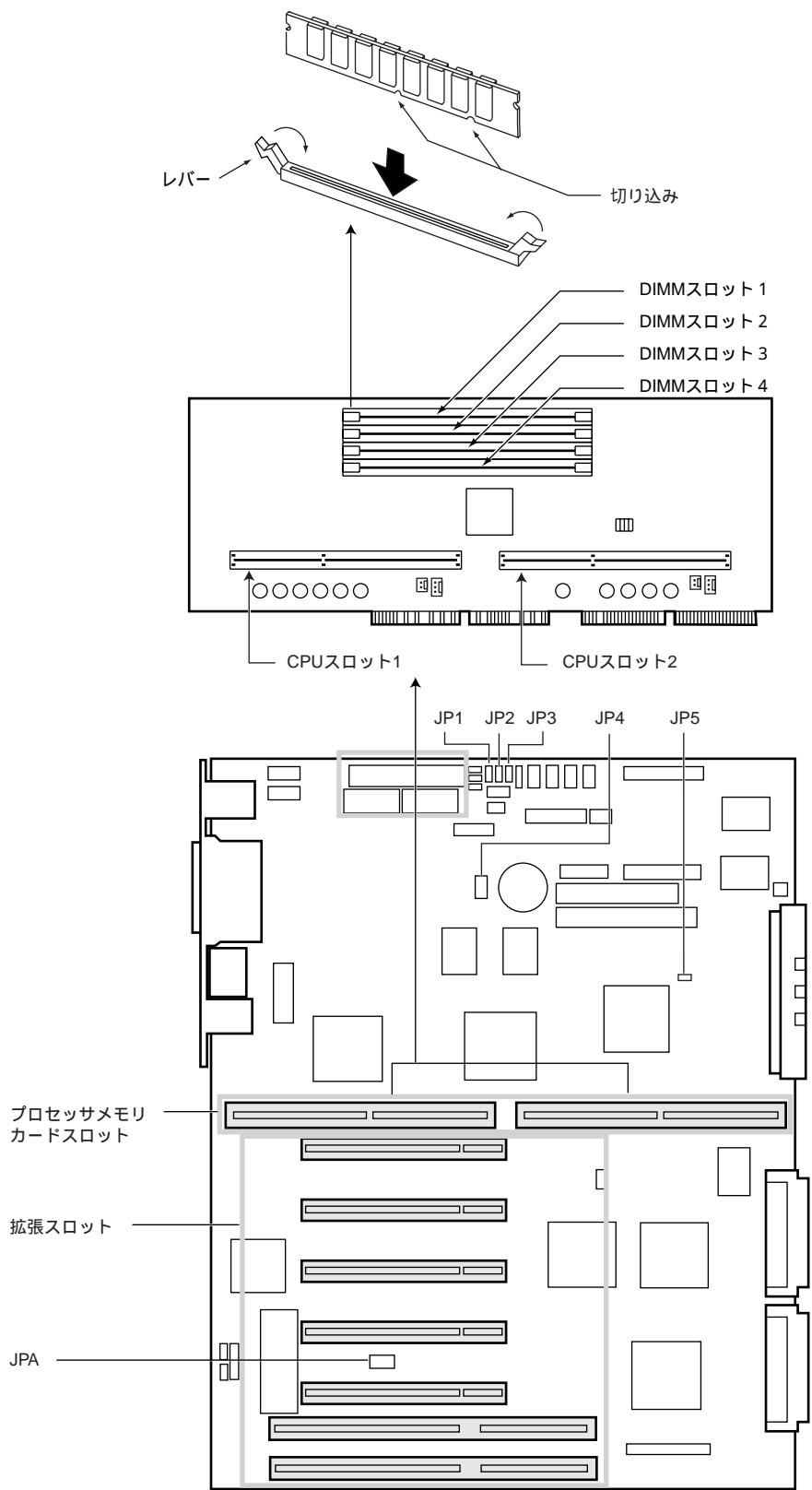
拡張RAMモジュール / プロセッサメモリカード

拡張RAMモジュールは、DIMMメモリ1枚から構成されます。

- ・拡張RAMモジュール64MB(GP5-RM64F)
- ・拡張RAMモジュール128MB(GP5-RM12F)
- ・拡張RAMモジュール256MB(GP5-RM25F)

拡張RAMモジュールは、スロット番号順 (DIMMスロット1 DIMMスロット2 DIMMスロット3 DIMMスロット4) に 実装してください。

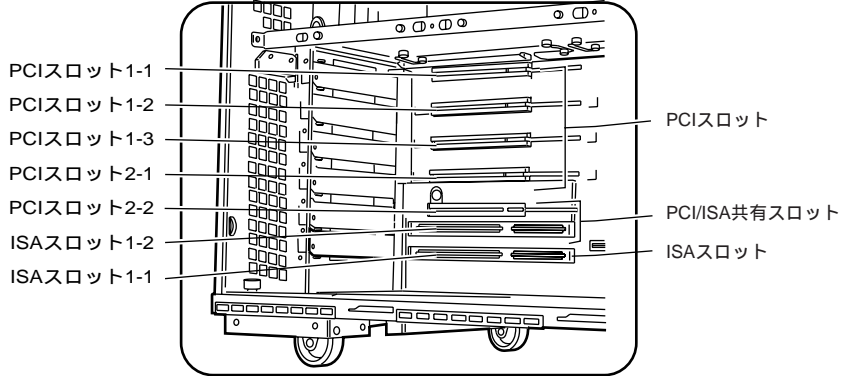
拡張RAMモジュールの取り付けは、コンタクト部分の切り込みで向きを判断して、DIMMスロットに正しく挿入してください。レバーが閉じます。レバーが完全に閉じていない場合は、指で閉じてください。



コンフィグレーションジャンパ

ジャンパ番号	ジャンパの設定 (ショートの設定)	
JP1	1-2	(工場出荷設定値 / 変更不可)
JP2	1-2	BIOS起動時にパスワードによるセキュリティ機能を有効にする。
	2-3	BIOS起動時にパスワードによるセキュリティ機能を有効にしない。(工場出荷設定値)
JP3	2-3	(工場出荷設定値 / 変更不可)
JP4	2-3	(工場出荷設定値 / 変更不可)
JP5	2-3	(工場出荷設定値 / 変更不可)
JPA	2-3	(工場出荷設定値 / 変更不可)

拡張スロット



拡張カードの搭載条件

搭載枚数制限

搭載カード		バス	搭載枚数	備考
サーバ モニタモジュール サーバ マネージメントアシストボード	GP5-SM103	PCI	最大1	
	GP5-SMB101	PCI	最大1	
SCSIアレイコントローラカード SCSIアレイコントローラカード SCSIアレイコントローラカード SCSIカード SCSIカード	GP5-144	PCI	最大3	内蔵・外付けアレイシステム用 内蔵・外付けアレイシステム用 内蔵・外付けアレイシステム用 外付けアレイシステム用 内蔵SCSI装置(GP5-ML301/ GP5-DL351/GP5-DT401)接続用、 ハードディスクキャビネット用 ディスクアレイシステム用
	GP5-145	PCI	最大2	
	GP5-146	PCI	最大2	
	GP5-123	PCI	最大2	
	GP5-127	PCI	最大3	
ファイバーチャネルカード		PCI	最大2 合計最大3	
LANカード (10BASE-5/2/T) LANカード (1000BASE-SX) LANカード (100BASE-TX/ 10BASE-T)	GP5-181	PCI	最大3	
	GP5-183	PCI	最大1	
	GP5-185	PCI	最大3	
LANカード (100BASE-TX/IPsec) クラスキット4	GP5-187	PCI	最大3	
	GP5S634	PCI	最大1 合計最大3	
FAXモデムカード	FMV-FX531	ISA	最大2	
MSLキット	FMS-193	PCI	最大1	
ISDN接続G3/G4FAX通信カード	GP5-161	PCI	最大4	
RS-232Cカード 通信カードV/X ISDNカード	GP5-162	PCI	最大2	
	GP5-163	PCI	最大2	
	GP5-165	PCI	最大2 合計最大3	

PCIスロットの搭載位置とIRQ制限

・各拡張カードは次の表の左側の拡張カードから優先して使用し、数字の順にスロットを使用してください。

スロット	サーバ モニタモジュール	SCSIアレイ コントローラカード			SCSIカード GP5-123 GP5-127 ファイバーチャネル カード GP5-FC101	サーバ マネージメントアシストボード GP5-SMB101	LANカード GP5-181 GP5-183 GP5-185 GP5-187 クラスキット4 GP5S634	その他の PCIカード (*2)
	GP5-SM103	GP5-146	GP5-145 (*1)	GP5-144 (*1)				
PCI1-1	1	-	-	-	-	1	1	1
PCI1-2	-	2	2	3	1	2	2	2
PCI1-3	-	1	1	2	2	3	3	3
PCI2-1	-	-	-	1	3	4	4	4
PCI2-2 (*3)	-	-	-	-	-	5	5	5

- : 搭載不可を示す

*1) GP5-145と内蔵ハードディスクを使用して、アレイシステムを構築する場合、搭載できるSCSIアレイコントローラカード(GP5-144/GP5-145)は最大2枚です。
この場合、追加で搭載するSCSIアレイコントローラカード(GP5-144/GP5-145)は、PCIスロット1-2に搭載してください。

*2) MSLキット(FMS-193)は、PCIスロット2-1、PCIスロット2-2にだけ搭載できます。

*3) PCIスロット2-2は、ISAスロット1-2と共有です。

- ・PCIスロットのIRQの共有について
 - PCIスロット1-1/1-2/1-3に搭載するPCIカードと、PCIスロット2-1/2-2に搭載するPCIカードとは、IRQを共有できません。
 - PCIスロット1-1/1-2/1-3に搭載するPCIカードは、オンボードSCSIとIRQを共有できません。
 - PCIスロット2-1/2-2に搭載するPCIカードは、オンボードLANとIRQを共有できません。
- ・SCSIアレイコントローラカードは、SCSIアレイコントローラカード同士でIRQを共有できます。また、SCSIアレイコントローラカードは他の拡張カードおよび装置とIRQを共用できません。
- ・SCSIカード(GP5-123/GP5-127)をPCIスロット2-1に搭載した場合は、SCSI SelectユーティリティでHost Adapter BIOS (Configuration Utility Reserves BIOS Space)の機能を無効化(Disabled)してください。

- ・LANカードおよびオンボードLANのIRQを共有するときは、ご使用になるOSごとに注意事項があります。
 - [Windows 2000 Serverの場合]
 - LANカード(GP5-181/GP5-185/GP5-187)およびクラスタキット4(GP5S634)は、オンボードLANとIRQを共有します。
 - LANカード(GP5-181/GP5-185/GP5-187)およびオンボードLANは、他の拡張カードおよび装置とIRQを共有できません。
 - [Windows NT Server 4.0 または SBS 4.5 の場合]
 - LANカード(GP5-181/GP5-185)およびクラスタキット4(GP5S634)は、オンボードLANとIRQを共有します。
 - LANカード(GP5-181/GP5-185)およびオンボードLANは、他の拡張カードおよび装置とIRQを共有できません。
 - [NetWare 4.2(2CPU構成)の場合]
 - LANカード(GP5-181/GP5-185) / オンボードLANは、他の拡張カードおよび装置とIRQを共有できません。
 - LANカード(GP5-181/GP5-185) / オンボードLANは、IRQレベル7および15を使用しないでください。
 - MSLキット(FMS-193)は、他の拡張カードおよび装置とIRQを共有できません。
 - [NetWare 4.2およびNetWare3.2J(1CPU構成)の場合]
 - LANカード(GP5-185/GP5-181)は、オンボードLANとIRQを共有します。
 - LANカード(GP5-185/GP5-181)およびオンボードLANは、他の拡張カードおよび装置とIRQを共有できません。
 - MSLキット(FMS-193)は、他の拡張カードおよび装置とIRQを共有できません。

- ・パラレルポート、シリアルポートを使用していないときはBIOSセットアップユーティリティで該当ポートを『Disabled』に設定することによって、そのIRQを流用することができます。

内蔵オプションの設定

ストレージベイと内蔵オプション

本サーバは、2種類のストレージベイに、それぞれ以下の内蔵オプションを取り付けることができます。

ストレージベイ	内蔵オプション
5インチストレージベイ	内蔵CD-ROMドライブユニット（標準搭載） 内蔵DATユニット 内蔵光磁気ディスクユニット 内蔵1/4インチCRMTユニット 内蔵DLTユニット
3.5インチストレージベイ	内蔵ハードディスクユニット

ストレージベイとSCSI-ID

内蔵オプションのうち、内蔵SCSIオプションは、ストレージベイに取り付けるまえに下表のとおり、対応したSCSI-IDに設定してください。ただし、3.5インチストレージベイに取り付ける内蔵ハードディスクユニットは、SCSI-IDの設定は自動的に行われるため、不要です。

[ディスクレスタイプ/OSインストールタイプ]

ストレージベイ	ベイ番号	SCSI ID	標準搭載の内蔵オプション
5インチストレートベイ	1	-	内蔵 CD-ROMドライブユニット（IDE規格）を標準搭載
	2	4	
	3	5	
3.5インチストレージベイ	1	0	OSインストールタイプは、内蔵ハードディスクユニットを標準搭載
	2	0	
	3	1	
	4	1	
	5	2	
	6	2	
	7	3	
	8	3	

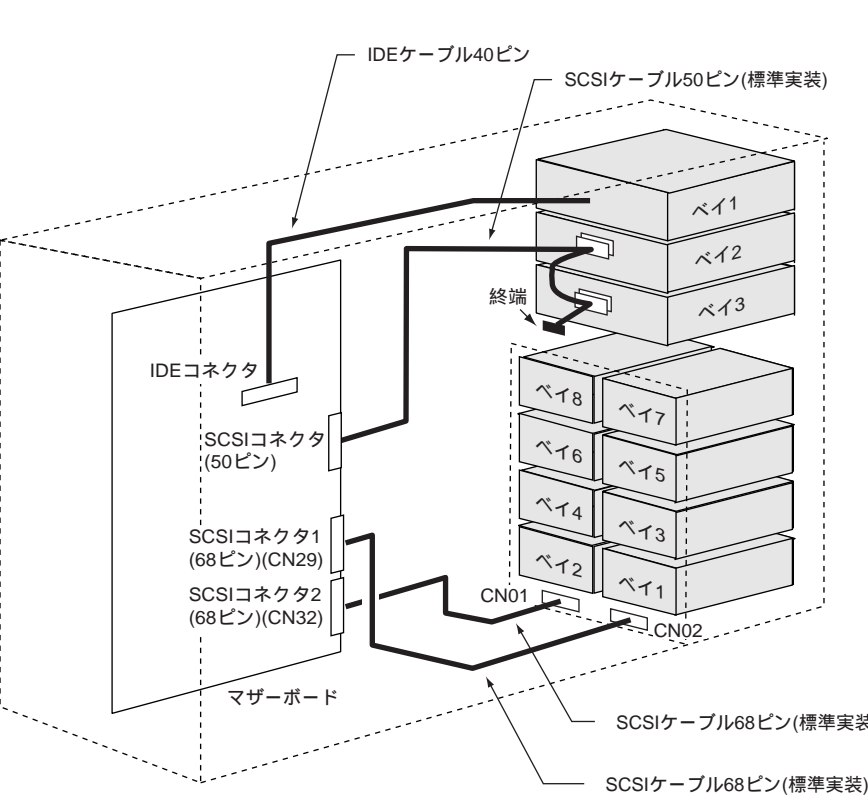
[アレイタイプ]

ストレージベイ	ベイ番号	SCSI ID	標準搭載の内蔵オプション
5インチストレートベイ	1	-	内蔵 CD-ROMドライブユニット（IDE規格）を標準搭載
	2	4	
	3	5	
3.5インチストレージベイ	1	0	内蔵ハードディスクユニットを標準搭載 内蔵ハードディスクユニットを標準搭載 内蔵ハードディスクユニットを標準搭載
	2	0	
	3	1	
	4	1	
	5	2	
	6	2	
	7	3	
	8	3	

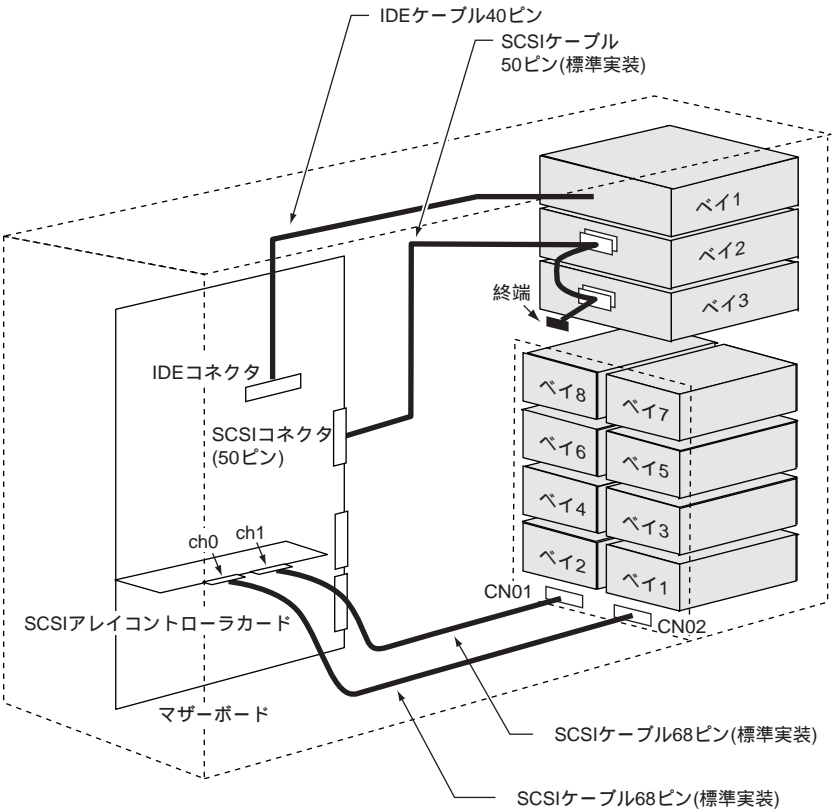
内部ケーブルの接続

内部ケーブルを、ストレージベイに取り付けられた内蔵オプションにそれぞれ接続します。各タイプの接続形態を以下に示します。

[ディスクレスタイプ / OSインストールタイプの場合]



[アレイタイプの場合]



BIOSセッアップユーティリティ

電源投入またはリセットし、POSTが終了すると、画面に「Enter Setup,Press Ctrl_Alt_Esc Key」が表示されます。
ここで[Ctrl]+[Alt]+[Esc]キーを押すと、BIOSセッアップユーティリティが起動されます。
以下に工場出荷設定値を示します。

Disk Drivesメニュー	
Floppy Drive A	: 1.44MB 3.5-inch
Floppy Drive B	: None
IDE Primary Channel Master	
Type	: Auto
Hard Disk Block Mode	: Auto
Advanced PIO Mode	: Auto
Hard Disk Size > 504MB	: Auto
Hard Disk 32 Bit Access	: Enabled
CD-ROM Drive DMA Mode	: Enabled
IDE Primary Channel Slave	
Type	: Auto
Hard Disk Block Mode	: Auto
Advanced PIO Mode	: Auto
Hard Disk Size > 504MB	: Auto
Hard Disk 32 Bit Access	: Enabled
CD-ROM Drive DMA Mode	: Enabled

Power Managementメニュー	
Power Management Mode	: Enabled
IDE Hard Disk Standby Timer	: OFF
System Sleep Timer	: OFF
Stop CPU Clock in Sleep State	: No
Power Switch < 4sec.	: Power off
PHP SCI	: Disabled
Wakeup Event	
Modem Ring	: Disabled

Startup Configurationメニュー	
Fast POST Mode	: Disabled
Silent Boot	: Disabled
Num Lock After Boot	: Enabled
Memory Test	: Enabled
Partial Test	: Enabledrd
Release All Blocked Memory	: Disabled
Configuration Table	: Enabled
Primary Display Adapter	: Auto
Boot from LANDesk Service Agent	: Disabled
Initialize SCSI Before IDE	: Disabled
Boot from IDE CD-ROM	: Enabled
Boot from Onboard SCSI Device	: Enabled (ディスクレスタイプ/OSインストールタイプの場合)
	: Disabled (アレイタイプの場合)
System Boot Drive	: Drive A Then C

Advanced Configurationメニュー	
Onboard Devices Configuration	
Serial Port 1	: Enabled
Base Address	: 3F8h
IRQ	: 4
Serial Port 2	: Enabled
Base Address	: 2F8h
IRQ	: 3
Parallel Port	: Enabled
Base Address	: 3BCh
IRQ	: 7
Operation Mode	: Standard
ECP DMA Channel	: -(表示のみ)
Onboard Floppy Disk Controller	: Enabled
Onboard IDE Primary Channel	: Enabled
Onboard PS/2 Mouse (IRQ 12)	: Enabled
Onboard USB	: Disabled
USB Legacy Mode	: Disabled
Onboard Ethernet Chip	: Enabled
SMBUS Interrupt (IRQ9)	: Enabled
Onboard SCSI1	: Enabled
Onboard SCSI2	: Enabled
Raid Controllable Channel (s)	: -
PnP/PCI System Configuration	
PCI IRQ Setting	: Manual
PCI Slot 1	: --
PCI Slot 2	: --
PCI Slot 3	: --
PCI Slot 4	: --
PCI Slot 5	: --
Onboard LAN	: 10
Onboard SCSI1	: 11
Onboard SCSI2	: 11
PCI Device Latency Timer	: 20
PCI IRQ Sharing	: Yes
VGA Palette Snoop	: Disabled
Plug and Play OS	: No
Reset Resource Assignments	: No
Memory Cache Configuration	
Internal Cache (CPU Cache)	: Enabled
Cache Scheme	: Write Back
System BIOS Cacheable	: Enabled
Video BIOS Cacheable	: Enabled
Memory at 15MB-16MB Reserved for	: System
Memory Parity Mode	: ECC+Scrubbing
Single Processor MP Table	: Enabled

(続き)

System Event Configuration	
System Event Logging	
Event Log BIOS Version	: イベントログBIOSの版数表示
Total Event Log Number	: 格納済みイベントログ数表示
Remain of Event Log Area	: 残りイベントログ格納領域%表示
Event Logging	: Enabled
Clear Event Log	: Disabled
>View Event Logs	: イベントログ表示
Event Control	
Temperature/Voltage/Fan	: Enabled
ECC	: Enabled
PCI	: Enabled
I/O Check	: Enabled
Critical Event Process	
Stop POST After CPU or Memory Reduction	: Disabled
Halt System If No CPU or Memory Available	: Enabled
Non-stop mode during POST	: Disabled
Threshold Setting	
CPU Warning Temperature	: 72
CPU Fatal Temperature	: 75
System Temperature	: 53
System Voltage	: 10
LCD Temperature	: 46
Chipset Configuration	
SDRAM CAS Latency	: 3CLKs
SDRAM RAS to CAS Delay	: 3CLKs
SDRAM RAS Precharge Time	: 3CLKs
Multi-Transaction Timer Count Value	: 32CLKs
Processor Serial Number	: Disabled
INTEL SMM Card Configuration	
INTEL SMM Card	: Disabled
I/O	: -
IRQ	: -
Memory	: -
DMA	: -

System Securityメニュー	
Disk Drive Control	
Floppy Drive	: Normal
Hard Disk Drive	: Normal
Setup Password	: None
Power-on Password	: None
Operation Mode	: Normal

Date and Timeメニュー	
Date	現在の日付が表示
Time	現在の時刻が表示

SCSIコンフィグレーションユーティリティ

電源投入またはリセットし、POSTが終了すると、画面に「Press Ctrl_C to start to Configuration Utility ...」が表示されます。ここで[Ctrl]+[C]キーを押すと、SCSIコンフィグレーションユーティリティが起動されます。
以下に工場出荷設定値を示します。

Mainメニュー	
Change Adapter Status	
Change Status on Next Boot	: Next-Boot:On
Adapter Boot Order	
SYM53C895-01-30	: 0
SYM53C895-01-50	: 1
Additional Adapter Configuration	本サーバでは、選択できません。
Display Mode	: Varbose
Mono/Color	: Mono
Language	本サーバでは、選択できません。

Utilityメニュー	
Adapter Setup	
SCAM Support	: Off
Parity	: On
Host SCSI ID	: 7
Scan Order	: Low to High (0..MAX)
Removable Media Support	: None
CHS Mapping	: SCSI Plug and Play Mapping
Spinup Delay (Secs)	: 2
Device Selections	
Dev0 ~ 15 N/A	
Sync Rate(MegaBytes/sec)	: 80
Width(bits)	: 16
Disconnect	: On
Read Write I/O Time-out(secs)	: 10
Scan for Device at Boot Time	: Yes
Scan for SCSI LUNS	: Yes
Queue Tags	: On
Initial Boot Device	: No